

## 選択必修領域 8月3日(金) その1

☆主な受講対象者 幼:幼稚園教諭、小:小学校教諭、中:中学校教諭、高:高等学校教諭、特:特別支援学校教諭、養:全校園種の養護教諭

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-1	学校安全・危機管理	6時間	全職種	幼・小・中・高・特	150名

テーマ：学校防災・防犯とクレーム対応

講師：矢崎 良明（学校安全教育研究所 教授・事務局長）

日本各地で起きている地震災害。事件から15年を経過している学校犯罪史上最悪の、大阪教育大学附属池田小学校事件。これらを中心にして、学校防災・防犯について考えます。次期学習指導要領改訂では、学校安全について各教科等で指導内容が充実し明確になる予定です。また、いじめや校内での事故などによる保護者の対応が大きな課題となっていてる中で、保護者とどのように対応したらよいか。クレームにならない手立て等についても講義します。

テーマ：生きる力を育む学校での安全教育

講師：藤岡 達也

これからの学校安全を進めるにあたって、安全管理、安全教育、組織活動についての理解を図ります。学校保健安全法、第2次学校安全推進の計画、さらには近年多発する自然災害の現状を紹介し、地域と学校との連動した取組などを解説します。滋賀県はじめ各地では、子供を事件や事故・災害などから守るためにどのような取組が求められているのかも紹介します。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-2	就学前教育をめぐる近年の状況変化と新たな課題	6時間	全職種	幼・特	50名

テーマ：就学前教育と子どもの育ち

講師：奥田 援史

就学前の子どもを対象とした教育・保育、子育て支援、早期教育などの現状と課題について理解する。また、就学前教育に関するエビデンスを確認し、子どもの発達を保障する教育・保育のあり方を考える。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-3	学校をめぐる近年の状況変化と新たな課題	6時間	全職種	小・中・高・特	60名

テーマ：学校教育をめぐる社会の変化

講師：濱 貴子(富山県立大学)

本担当部分では、学校教育をめぐる社会の変化を概観し、学校教育の今後を展望する視点の獲得をめざす。まず、消費社会・情報社会・格差社会の進展による子どもや家庭をとりまく生活環境の変容と現状を把握する。そのうえで、PISA、TIMSS、全国学力・学習状況調査といった各種学力調査より子どもの学力の現状を、また、各種統計調査よりいじめ、不登校、少年犯罪など生徒指導上の諸問題の現状を確認する。最後に、教育改革にかかわる近年の答申・提言等を整理し、学校教育の今後の方向性について考察する。

テーマ：児童生徒・保護者の変容とこれからの学校・教師

講師：太田 拓紀

本担当部分では、変容する児童生徒・保護者の現状と課題にせまり、今後求められる学校や教師のあり方を考察する。具体的には、コンサマトリー化、多元的自己、クレーム問題といった子ども・保護者の価値観・行動様式の問題や、協働性、自律性などに関わる新たな学校・教師の方向性について取りあげる。子どもと保護者、学校と教師の問題を、社会との関係からとらえなおすことで、各自の教育実践に資する新たな視野の獲得をめざす。

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-4	「道徳の教科化」と授業の充実	6時間	全職種	小・中・特	30名

講師：川那邊 正(草津市教育長)

小学校で「特別の教科 道徳（道徳科）」が始まりました。中学校も平成31年度から実施です。授業では、「考え、議論する道徳」をどう展開するかが大きな課題です。また、いじめの未然防止に道徳教育の果たす役割も大きいといわれています。さらに、児童生徒を認め、励ます評価についても一層理解を深めなければなりません。このように、道徳教育にはこれまで以上に力を入れて取り組まなければなりません。

そこで、本講習では、道徳教育の基本理念や意義、指導方法、評価等についての理解を深め、充実への方途を見出すことにします。特に、教材解釈や授業構想では、具体的な教材を取り上げ、協議や演習も取り入れながら、実践に繋がる内容にしたいと思います。

受講されたみなさんには、授業力を磨くとともに、学校の道徳教育全体を推進する力も高めていただくことを期待しています。

選択必修領域 8月3日(金) その2

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-5	教育理念を共有しながら進める学校、園、地域社会との連携及び協働	6時間	全職種	幼・小・特	50名
<p style="text-align: right;">講師：中井 清津子(相愛大学)</p> <p>予測不可能な時代に生きる子どもたちは、これからどのような未来を創っていくのか、また、社会や人生をよりよいものにするために、人間として何が大切なのかなど、学校教育の中でこれからの時代に求められる資質や能力について新たな視点から論じられています。このような中で、学校園の教育が社会に開かれ、家庭、地域社会と教育理念を共有しながら、様々な教育課題について連携し、子どもの成長に社会全体で協働的にかかわっていく取り組みについて考えましょう。 【・連携及び協働の必要性・幼児、児童にとっての意義・具体的な実践紹介(コミュニティスクール等)・ワークショップ(連携、協働を生み出す工夫と実践)】</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-6	グループ活動を通して考える学校の安全管理と安全教育	6時間	全職種	小・中・特	30名
<p style="text-align: right;">講師：南出 儀一郎(滋賀県教育会 副理事長・副会長)</p> <p>安心安全でなければならない学校現場では、日々様々な問題が起こり、それに苦慮している現状があります。学校が抱える様々な問題や課題について、危機管理の点から学校、保護者(家庭)、地域がどのように関わっていけばよいかについて、また、児童生徒への安全教育の在り方について、現場の事例を出し合いながら、それをもとにグループで考え合い、明日への実践につないでいきたいと思えます。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-7	教育における心理的支援 I	6時間	全職種	小・特	60名
<p>テーマ：環境的要因と特性的要因の見立てと心理的支援</p> <p style="text-align: right;">講師：芦谷 道子</p> <p>子どもの心理的問題を理解し、支援するために重要な環境的要因と特性的要因について、主に愛着障害と発達障害の観点から理解を深め、見立てに基づいた心理的支援について学びを深めます。心理的支援としては、カウンセリングマインドやスキル教育的支援、環境調整、保護者支援、予防教育的支援などについて、具体的、実践的に考えていきます。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-8	教育における心理的支援 II	6時間	全職種	中・高・特	35名
<p>テーマ：教師とスクールカウンセラーとの連携</p> <p style="text-align: right;">講師：井芹 聖文(就実大学)</p> <p>教師とスクールカウンセラーの望ましい連携のあり方を考えたいと思えます。具体的には、教育と心理臨床の視点の相違、カウンセリング・マインド、さらには不登校などの諸問題をめぐる理解と対応の概要を学びながら、架空事例を素材にしたグループ・ディスカッションを行います。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-9	キャリア教育の実践と進路指導	6時間	全職種	中・高・特	40名
<p style="text-align: right;">講師：若松 養亮</p> <p>2004年から始まったキャリア教育は、新しい環境へのスムーズな移行支援のために幼児教育段階から通常の教育活動のなかで行うとされています。しかし実際に計画的でバランスの良い実践は行われない傾向にあり、職場体験が代用されたり、進路指導との境界が曖昧といった問題点があります。本講習では、キャリア教育の基礎から入り、どのように実践を進めるか、進路指導との棲み分けはどうかなどの解説を通して、費用対効果の高いキャリア教育と、それに隠れておろそかにならない進路指導を考えます。</p>					

コード番号	講習の名称	時間数	対象職種	主な受講対象者	定員
B-10	子どもの貧困問題と向き合う	6時間	全職種	幼・小・中・特	50名
<p style="text-align: right;">講師：紅林 伸幸(常葉大学)</p> <p>現在、子どもの貧困は、社会問題としても、教育問題としても、最重要課題の一つとなっている。子どもの貧困は経済的側面にとどまらず、文化的貧困という特徴を持ち、この観点に立ったときに、学校現場が取り組むべき課題は明確になる。本講習では講義と演習を通して、子どもの文化的貧困の実態を理解し、不条理にもそうしたハンディを抱えることを余儀なくされた子どもたちに対して学校教育には何ができるのかを、教科指導と生徒指導の両面から具体的に検討する。</p>					